



JANPU災害大学間連携ネットワーク 活動の概要と課題

災害支援対策委員会

災害大学間連携ネットワーク活動とは

- 目的:災害発生時の教育継続支援に向けた組織体制構築
- 参加校:JANPU災害支援対策委員会の趣旨に賛同いただいた会員校
- ブロック区分:下記7区分

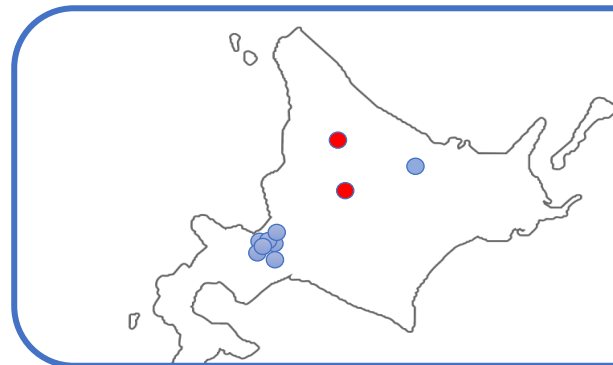
*北海道・東北ブロック	竹本 由香里 (宮城大学)
*関東(東京以外)ブロック	千葉 由美 (横浜市立大学)
	山下 美智代 (筑波大学)
*東京ブロック	内木 美恵 (日本赤十字看護大学)
*中部ブロック	山崎 加代子 (敦賀市立看護大学)
*関西・近畿ブロック	西上 あゆみ (藍野大学)
*中国・四国ブロック	竹崎 久美子 (高知県立大学)
*九州・沖縄ブロック	松成 裕子 (鹿児島大学)

ブロック活動（ブロック名と登録校推移）

広域ブロック名	開始時 2021/1/8 287会員校	前年度 2024/2/1 299会員校	今年度 2025/2/4 304会員校	小ブロック名
北海道・東北	22(66.7%)	31(93.9%)	31(91.2%)	北海道、北東北（岩手&青森&秋田）、 南東北（宮城&山形&福島）
関東（東京以外）	41(69.5%)	54(88.5%)	56(91.8%)	茨城&栃木、群馬&埼玉、神奈川、千葉
関東（東京）	15(57.7%)	24(92.3%)	26(96.3%)	23区外、23区
中部	39(73.6%)	55(96.5%)	57(98.3%)	岐阜&愛知、新潟&長野、山梨&静岡、 石川&富山&福井
関西・近畿	33(62.3%)	54(96.4%)	57(100%)	京都&滋賀、兵庫、三重、大阪&奈良&和歌山
中国・四国	22(68.8%)	27(84.4%)	30(90.9%)	中国（鳥取&岡山&島根&広島&山口）、 四国（高知&香川&愛媛&徳島）
九州・沖縄	22(71.0%)	33(97.1%)	34(100%)	北1（福岡北部）、北2（福岡南部&佐賀&長崎）、 南（大分&熊本&宮崎&鹿児島）、沖縄
合計	194(67.6%)	278(93.0%)	291(95.7%)	

北海道・東北ブロック

北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県



北海道ブロック：11大学

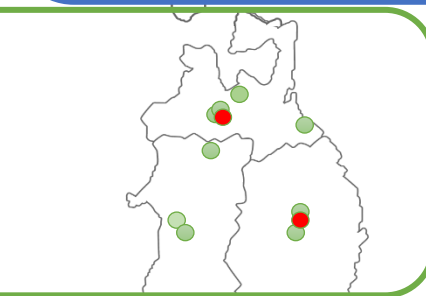
【当番校】

- ・名寄市立大学
- ・旭川医科大学

北東北ブロック：11大学

【当番校】

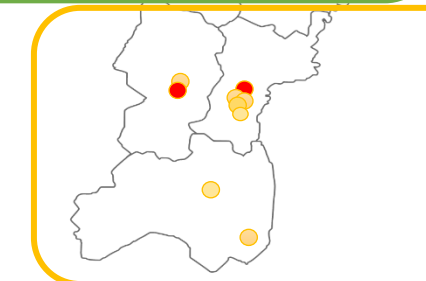
- ・岩手保健医療大学
- ・弘前大学



南東北ブロック：9大学

【当番校】

- ・宮城大学
- ・山形大学



■登録 31大学/34大学

担当：竹本由香里（宮城大学）

2024年度活動報告

1. 広域ブロック会議

①2024年7月24日（20/31大学 参加）

- ・ 2023年度災害支援対策委員会ブロック活動の概要
- ・ 小ブロック会議の情報共有

②2025年3月11日（21/31大学 参加）

- ・ 2024年度活動の振り返り
- ・ 大雪や山林火災に関する情報交換
- ・ 2025年度活動に向けて

小ブロック

- ・ 顔の見えるつながり
- ・ 大学の備え、災害看護教育に関する情報交換

2. 被災状況調査を実施するような災害の発生はなかったが、大雪による雪害と山林火災に対する大学の対応について状況を把握した。北東北ブロック 1校で授業への影響（通学困難）が出ていた。

関東（東京以外）ブロック

千葉県・神奈川県・群馬県・埼玉県・茨城県・栃木県



当番校：**年次交代**

- ① 千葉県(17校)：順天堂大学
- ② 神奈川県(13校)：北里大学
- ③ 群馬県・埼玉県(18校)：埼玉県立大学
- ④ 栃木県・茨城県(8校)：茨城県立医療大学

担当：千葉由美（横浜市立大学）
山下美智代（筑波大学）

2024年度 活動報告

活動目標：災害時の教育継続支援に向けた体制づくり

○平時の大学の備えに関する情報集約

○災害発生時の情報集約、聞き取り調査・災害支援対策委員会への報告

○2～3回/年のブロック（全体会議）の開催（ブロック担当者変更後、第1回目2024年10月24日実施）

○大（広域）ブロック会議のネットワーク化と円滑な運営

【全体会議】2024年5月20日（月）

18:30～19:40 オンライン（Zoom）

- 1.自己紹介
- 2.報告事項
 - ・災害看護関係活動紹介
 - ・R6年度能登半島地震発生後の活動紹介
- 3.その他
 - ・JANPUへの要望事項（各小ブロックへの活動のお問合せ）

【広域ブロック会議】2024年10月24日（木）

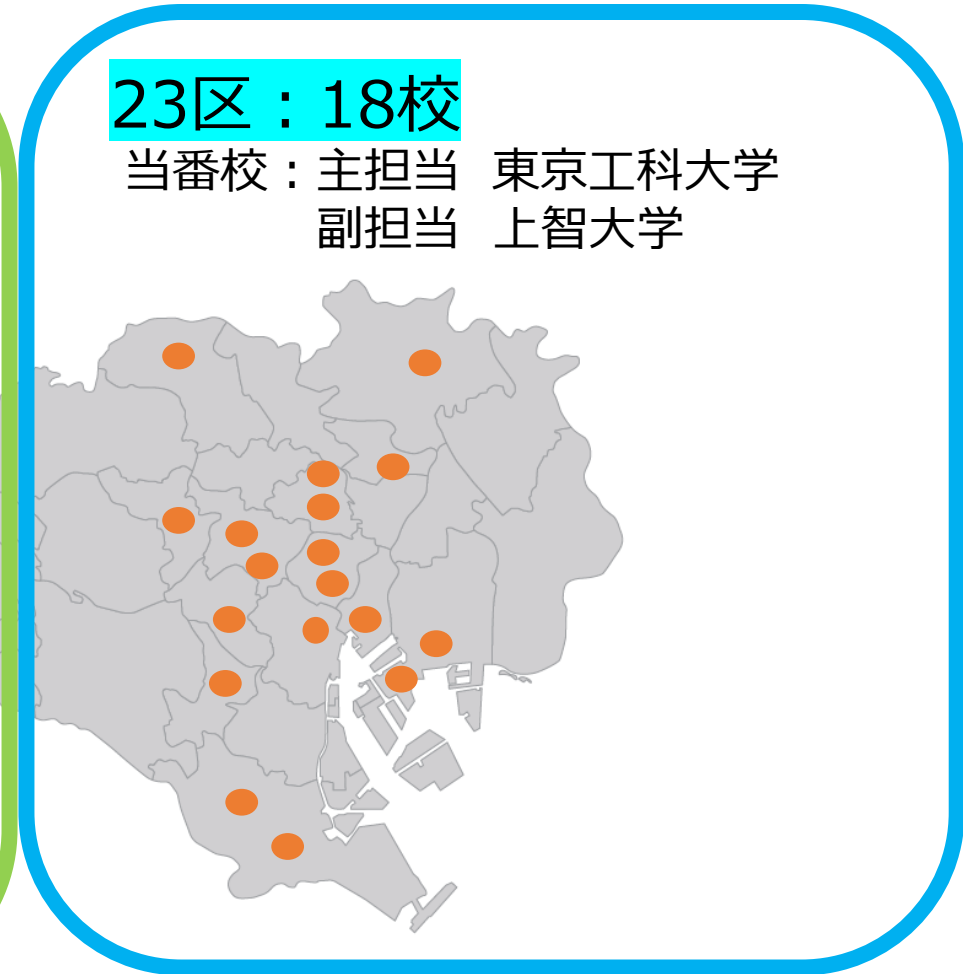
18:00～19:15 オンライン（Zoom）

- 1.広域ブロック当番校内の情報共有
 - ・自己紹介
 - ・資料説明（下記）
 - ・第2回災害支援対策委員会議事録（案）
 - ・JANPU災害連携教員メーリングリスト（2024年9月6日時点）
 - ・災害支援対策委員会・会議資料20240905
- 2.ブロック活動等に関する情報交換とディスカッション
 - ・災害支援対策委員会における広域ブロックと小ブロックの位置づけ、役割、活動内容
 - ・各ブロック内、ブロック間の連携、情報共有の必要性
- 3.その他
 - ・ファイルPW、管理法、ZoomURL、小ブロック内の活動報告、任期の確認、等

東京ブロック

登録校：**26校** / 27校

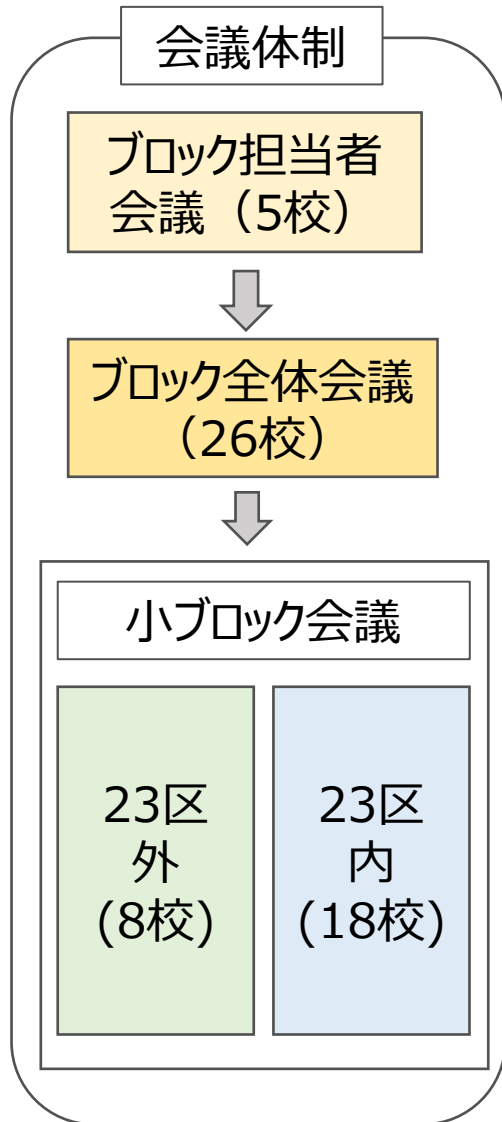
★2023年度より2校増える



担当：内木美恵（日本赤十字看護大学）

2024年度の活動報告

都内では、2024年度に被害調査を行う規模の災害は発生せず。



東京ブロック担当者会議

実施日と方法：11月11日 web会議 (zoom)

参加：5校/5校 (各ブロックの主・副担当、ブロック代表)

内容：**今年度の活動方針** (情報交換、帰宅困難時対応)、**小ブロック会議開催計画**

東京ブロック全体会議

実施日と方法：12月12日 web会議 (zoom)

参加：17校/26校

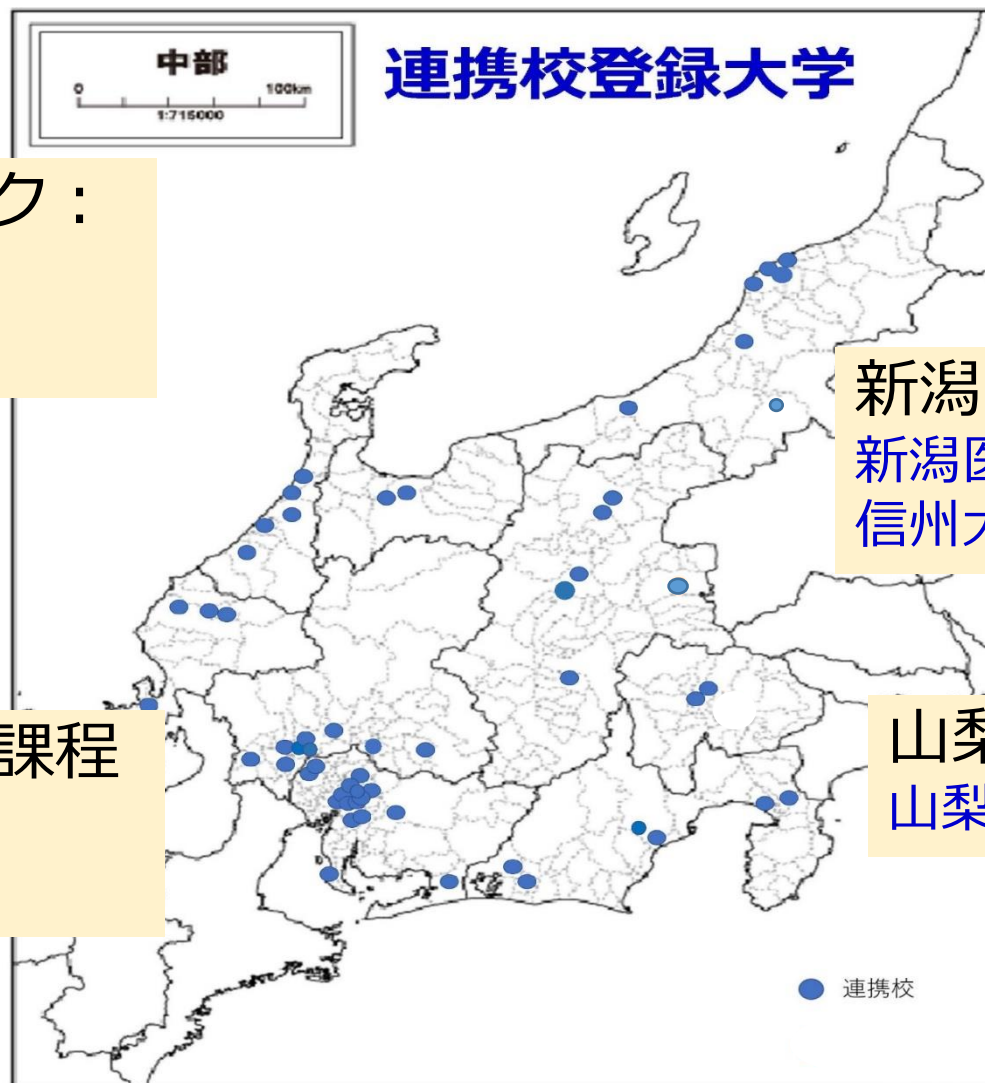
内容：**2024年度委員会活動方針伝達**

・**情報交換** (安否確認、備蓄、防災訓練、地域連携活動)

・**帰宅困難時の対応**

中部ブロック

石川県・富山県・福井県・岐阜県・愛知県・新潟県・長野県・山梨県・静岡県



石川・富山・福井ブロック：
11課程
福井大学

岐阜・愛知ブロック：25課程
愛知医科大学
岐阜大学

新潟・長野ブロック：13課程
新潟医療福祉大学
信州大学

山梨・静岡ブロック：8課程
山梨大学

2025年2月現在 登録大学
57課程/58課程

2024年度に2校が新規追加

中部ブロック
担当：山崎加代子

2024年度活動報告 当番校会議

2024年4月～2025年3月

災害時の教育継続支援に向けた体制づくりに関する中部ブロック担当者会議

2024 (R6)
JANPU被災状況調査

なし

1回目 7月1日 6課程参加

- 本部委員会の活動報告と計画、中部ブロックの活動経過
- 検討__中部ブロックの連携体制、意見交換

中部ブロックの災害対応に関する大学間連携体制は、小ブロックにおいて災害連携担当教員の役割等を共有・確認、顔の見える関係を築くことを目的とした『連携ネットワーク』の構築を目指し、各大学の状況に配慮しながら無理のない形で進めていく。見える関係づくりによるネットワークを充実する。

__会議は、小ブロック会議と中部ブロック担当者会議体制を継続する。各会員校の防災対策や災害発生時の対応、各地域の特徴に応じた情報や意見を交換する。

__災害発生時の状況調査と支援ニーズ情報共有:調査が重複しないように、災害発生時の早期の情報集約は小ブロック内の事情に合わせて各小ブロックで情報収集する方向で検討する。

2回目 2025年3月3日・4日 7課程参加

- 災害支援対策委員会の活動経過の報告
- 中部ブロックでのネットワーク・連携体制
__ブロック活動状況、意見交換、今後の活動方針の検討

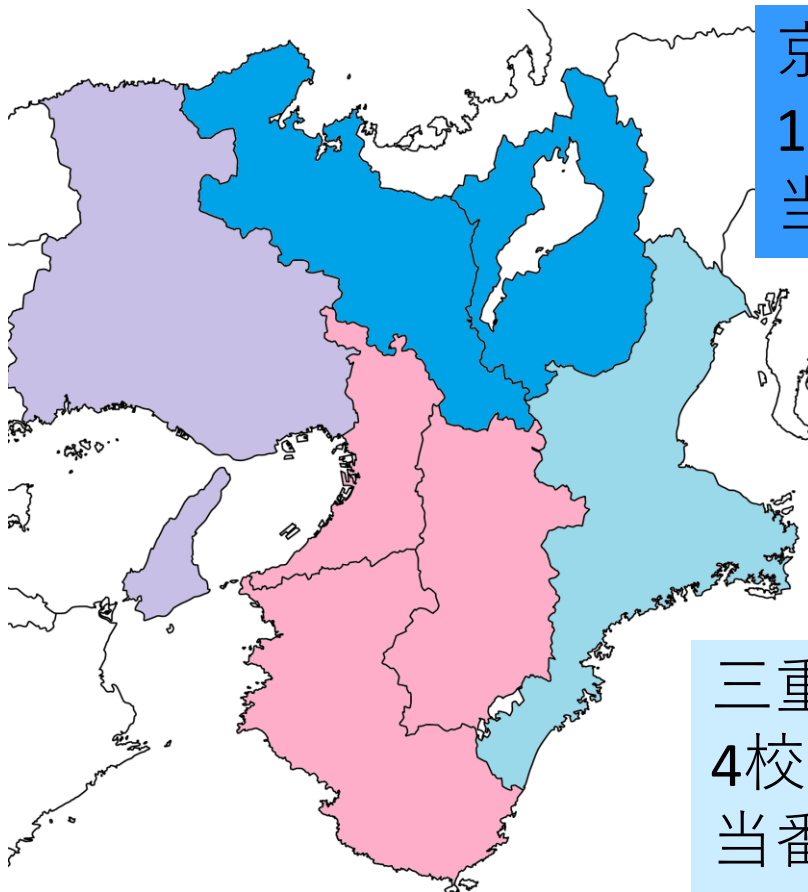
小ブロック会議

関西・近畿ブロック

大阪府・奈良県・和歌山県・京都府・滋賀県・兵庫県・三重県

兵庫
15校
当番校：兵庫県立大学

大阪・奈良・和歌山
26校
当番校：大阪公立大学

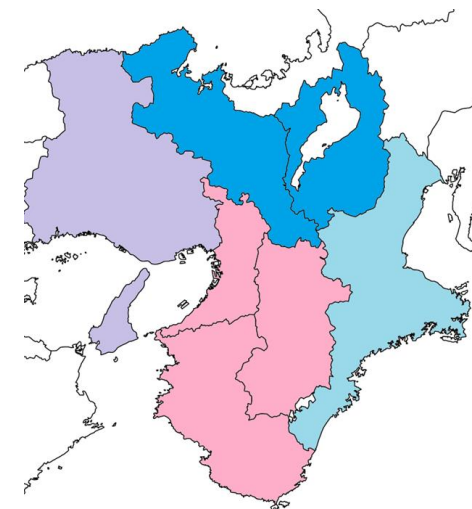


京都・滋賀
12校
当番校：京都府立医科大学

三重
4校
当番校：四日市看護医療大学

ブロック担当：西上あゆみ（藍野大学）

活動報告



・ 関西・近畿ブロック会議

2024年5月10日

1)過去の災害支援対策委員会に関する活動等の伝達
(2024年2月災害フォーラム結果を含む)

2)2024年度関西・近畿ブロックの現状と活動計画の共有

2024年10月16日

1)2024年度の本部委員会の活動計画の伝達

2)現在の活動内容の共有

・ 被災状況調査

* 8月発生台風10号に関して被災状況調査実施 (9月18日～10月2日)
回答32校 (58.2%)、被害あり2校 (6.3%)、本会への要望なし

集計結果については、都度、結果を会員校に報告。

中国・四国ブロック

鳥取県・岡山県・島根県・広島県・山口県・愛媛県・香川県・高知県・徳島県

中国ブロック：19校（連携未登録3校）

当番校：日本赤十字広島看護大学

副当番校：岡山大学



四国ブロック：11校

（連携未登録0校）

当番校：高知県立大学

副当番校：香川大学

ブロック担当：竹崎久美子（高知県立大学）

活動報告

- **広域ブロック会議：第1回 2025年3月3日**
 - 2024年度活動報告
 - 2025年度活動の方向性
 - ・ 小ブロック会議のもち方に関する共有、検討
 - ・ 各ブロックの活動方針の共有 等
 - 情報交換
- **小ブロック会議**
 - 中国ブロック 6回（2025年3月現在）奇数月開催
 - 四国ブロック 1回（2025年3月25日）
- **被災状況調査**

4月に発生した豊後水道地震に関して調査を実施し、被害がないことを確認

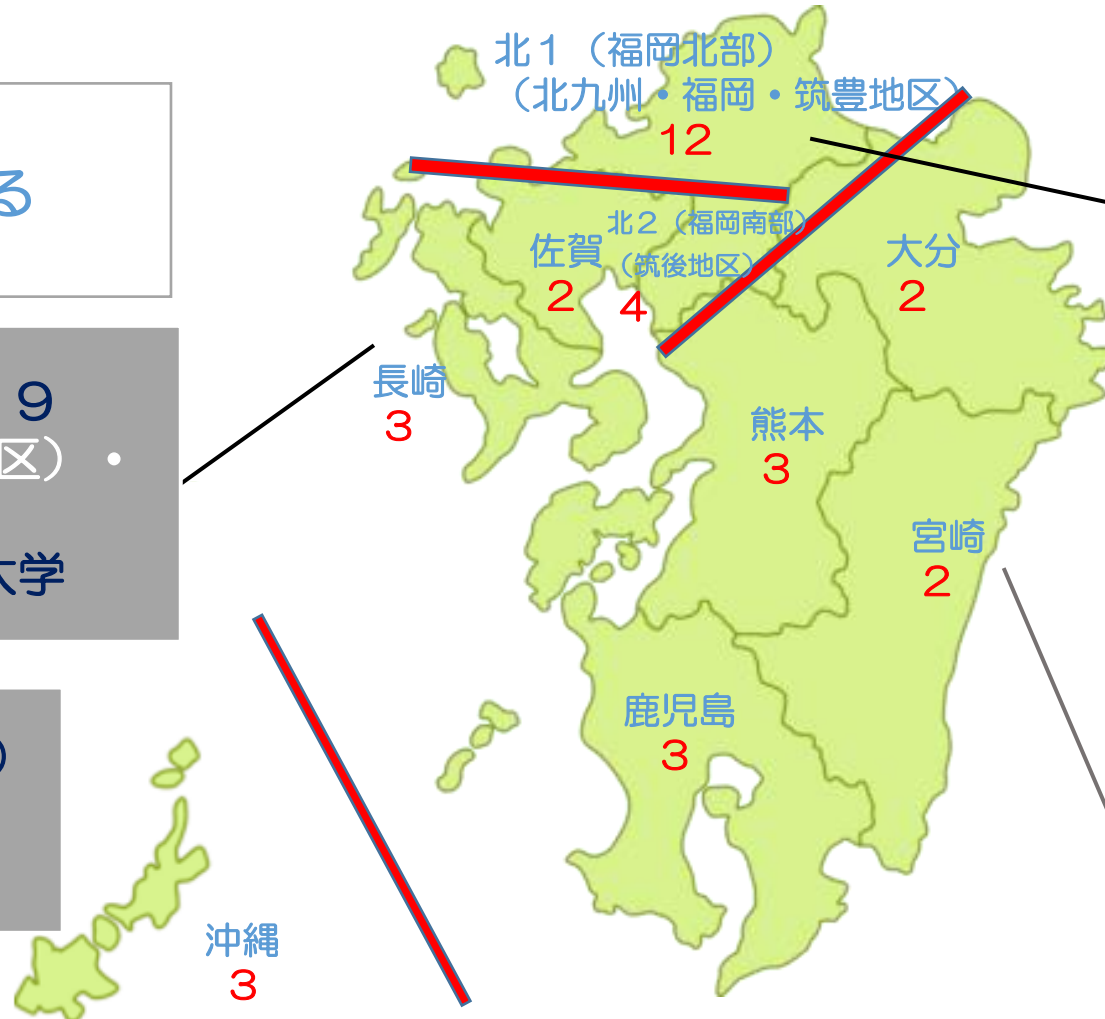
九州・沖縄ブロック

福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

[登録大学：34]
昨年度より1校増える
未登録校 0校

北2ブロック：9
福岡南部（筑後地区）・
佐賀・長崎
当番校：長崎大学

沖縄ブロック：3（4人）
沖縄
当番校：琉球大学



北1ブロック：12
福岡北部（北九州・福岡・
筑豊地区）
当番校：福岡大学

南ブロック：10
大分・熊本・宮崎・鹿児島
当番校：宮崎県立看護大学

活動報告

●ブロック会議 全体の会合が開催できていない

- ブロック担当者から小ブロック担当者へは直接電話等で情報交換を実施している
- 全ての小ブロックにおいては、各小ブロックの状況と現状における問題等について会議が開催されている

●被災状況調査

「2024年8月8日16時43分頃に発生した日向灘の地震」

「2024年8月台風10号」による被災状況

- WEB調査で実施

ブロック活動での具体的な取り組み

- 早期から独自の情報共有スプレッドシートや自己点検シートを作成し、活動していた小ブロックもあった



- 大学間の交流だけではなく、登録大学の状況把握のためのデータベースの作成について検討
- 他のブロック活動を参考に、小ブロック内での連絡網、フローチャート、規約作成の取り組み
- 具体的な活動目標の設定（帰宅困難時の大学間連携のための情報収集と整理）
- 継続的な活動に向けた議事録や情報の一元化の検討（担当者変更時の課題）
- 東京ブロックでは会議での情報交換を通して、ブロック内の安否確認システム導入率が向上（2023年度調査では導入率90.5%）

まとめと課題

- 広域ブロック、小ブロックの具体的な活動には差があるが、それぞれの地域特性や状況に応じて活動を継続している。
- 各大学の災害対策や災害看護教育の情報交換、帰宅困難時の対応など共通する課題についての意見交換が行われていた。
- 大学間連携に向けた具体的な取り組みが始まっている地域も増えてきた。
- 被災状況調査は、豊後水道地震、日向灘地震、台風10号の発生により3ブロックで実施された。8月8日発生の日向灘地震では南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」が気象庁より発表され、災害支援対策委員長より会員校に備えの見直しについてメール配信を行った。
- 災害発生時の教育継続支援に向けた大学間連携のあり方について検討を進めること、委員会としてブロック活動を推進するための方法（ガイダンス資料の作成等）について検討することが課題である。